

International Workshop

Discourse Markers and Discourse Connectives in Several Languages

基調講演 Maj-Britt MOSEGAARD HANSEN
(マンチェスター大学教授)

Discourse markers : what do they do, and
why do they matter to linguistic theory?

研究報告 本学教員

日時: 2016年1月13日(水) 13:00~16:00

場所: 語学研究所 419室

使用言語: 英語 通訳なし

Mosegaard Hansen 先生はコペンハーゲン大学のロマンス語学科准教授を歴任した後、2007 年からマンチェスター大学の言語文化学部教授に着任し、現在に至ります。ご専門は語用論で、ロマンス諸語、英語、デンマーク語等の談話標識の研究者です。先生は *Revue Romane* の編集主幹、さらに *Studies in Pragmatics* の co-editor でもあります。詳細は <http://www.manchester.ac.uk/research/Maj-britt.mosegaardhansen/> を参照ください。

主催:

科学研究費助成金(基盤研究A「コーパスに基づく談話の主題と結束性の研究」(代表 峰岸真琴)

科学研究費助成金(基盤研究B「多言語コーパスの構築と言語教育への応用可能性」(代表 川口裕司)

共催:

東京外国語大学語学研究所